

令和2年度開講科目 講義シラバス

作業療法学科  
昼間コース3年生

学校法人 巨樹の会

令和2年度 実施予定 カリキュラム

学校法人リハビリ 巨樹の会 リハビリテーション学院・学校【作業療法学科 昼間コース】

分野	教育内容	指導要領	授業科目	1年		2年		3年		時間数	単位数	
				前期	後期	前期	後期	前期	後期			
基礎分野	科学的思考の基礎 人間と生活	人文科学	心理学	30						30	2	
			基礎教養	30						30	2	
			対人関係演習Ⅰ	30						30	2	
			対人関係演習Ⅱ		30					30	2	
		自然科学	統計学					30			30	2
			情報処理	30							30	2
物理学	30								30	2		
専門基礎分野	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学	解剖学Ⅰ	30						30	2	
			解剖学Ⅱ		30					30	2	
		生理学	生理学Ⅰ	30						30	2	
			生理学Ⅱ		30					30	2	
		運動学	運動機能学Ⅰ	30						30	2	
			運動機能学Ⅱ		30					30	2	
			運動機能学演習Ⅰ	30						30	2	
			運動機能学演習Ⅱ		30					30	2	
		人間発達学	人間発達学			30				30	2	
		疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	臨床医学総論	医学概論	30						30	2
	病理学概論				30					30	2	
	臨床医学各論		整形外科			30				30	2	
			内科学			30				30	2	
			神経内科学			30				30	2	
			臨床心理学		30					30	2	
	精神医学		30					30	2			
保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション概論・医学	リハビリテーションと作業療法	30					30	2			
専門分野	基礎作業療法学	基礎作業学	基礎作業学Ⅰ	30						30	2	
			基礎作業学Ⅱ		60					60	2	
			基礎作業学Ⅲ			30				30	1	
			生活機能演習				30			30	1	
	作業療法評価学	作業療法評価学	評価学演習Ⅰ	60						60	2	
			評価学演習Ⅱ		60					60	2	
			評価学演習Ⅲ			30				30	1	
			評価学演習Ⅳ				30			30	1	
	作業療法治療学	日常生活活動学	日常生活活動学演習Ⅰ		30					30	1	
			日常生活活動学演習Ⅱ			30				30	1	
		義肢装具学	義肢学		30					30	1	
			装具学			30				30	1	
		疾患別作業療法学	中枢神経系障害の作業療法学Ⅰ			60				60	2	
			中枢神経系障害の作業療法学Ⅱ				30			30	1	
			運動器系障害の作業療法学				60			60	2	
			発達障害の作業療法学			30				30	1	
			内部系障害の作業療法学Ⅰ			30				30	1	
			内部系障害の作業療法学Ⅱ				30			30	1	
			精神障害の作業療法学Ⅰ			60				60	2	
			精神障害の作業療法学Ⅱ				60			60	2	
高次脳機能障害の作業療法学				30			30	1				
作業療法学技術演習Ⅰ			30				30	1				
作業療法学技術演習Ⅱ				60			60	2				
作業療法学総合学習	作業療法学総合学習						60	60	2			
地域作業療法学	生活環境学					30			30	2		
	地域作業療法学演習					30			30	2		
実習	臨床実習	臨床実習	臨床実習				810		810	18		
*基礎分野:講義15~30時間1単位 *専門基礎分野:講義・演習15~30時間1単位 *専門分野:同上 *臨床実習:45時間1単位	基礎分野		150	30	0	30	0	0	210	14		
	専門基礎分野		180	210	120	0	0	0	510	34		
	専門分野		90	180	330	390	0	60	1050	38		
	実習		0	0	0	0	810	0	810	18		
	前期・後期小計		420	420	450	420	810	60	2580	104		
	前後期合計		840		870		870					

専任教員略歴一覧表

担当科目	担当教員指名	臨床経験内容
リハビリテーションと作業療法Ⅰ	吉田 和弘	身体障害領域病院実務経験
		高齢者施設・在宅領域実務経験
精神障害の作業療法Ⅰ	二階堂 晴江	精神科領域病院実務経験
基礎作業学Ⅱ		高齢者施設・在宅領域実務経験
作業療法学技術演習Ⅱ		精神保健福祉士兼務実務経験
精神医学		
対人関係演習Ⅰ		
リハビリテーションと作業療法Ⅱ		
基礎作業学Ⅰ	太田 研吾	精神障害領域病院実務経験
基礎作業学Ⅲ		精神障害領域訪問支援実務経験
精神障害の作業療法Ⅱ		高齢期施設実務経験
精神障害の作業療法Ⅰ		
地域作業療法学演習		
作業療法学技術演習Ⅱ		
高次脳機能障害の作業療法学	松崎 正晃	身体障害領域病院実務経験
中枢神経系障害の作業療法学Ⅱ		
日常生活活動学演習Ⅱ		
内部系障害の作業療法学Ⅰ		
内部系障害の作業療法学Ⅱ		
神経内科学セミナー		
臨床実習		
運動学演習Ⅰ	桑原 健志	身体障害領域病院実務経験
運動学演習Ⅱ		高齢者施設・在宅領域実務経験
中枢神経系障害の作業療法学Ⅰ		
評価学演習Ⅳ		
生活環境学		
作業療法学技術演習Ⅱ		
実技セミナー		
日常生活活動学演習Ⅰ	堀川 和馬	身体障害領域病院実務経験
装具学		高齢者施設・在宅領域実務経験
作業療法学技術演習Ⅰ		
運動器系障害の作業療法学		
義肢学		
対人関係演習Ⅱ		
解剖学セミナー・実技セミナー		
運動器系障害作業療法学セミナー		
基礎作業学演習Ⅱ	沖 雅人	身体障害領域病院実務経験
基礎評価学演習Ⅰ		
運動器系障害の作業療法学		
作業療法学技術演習Ⅰ		
臨床評価学演習Ⅰ		
臨床評価学演習Ⅱ		
運動器系障害作業療法学セミナー		
運動学Ⅰ	近藤 昭彦	身体障害領域病院実務経験
運動学Ⅱ		
リハビリテーション基礎医学Ⅰ		
基礎作業学Ⅱ		
評価学演習Ⅲ		
作業療法学技術演習Ⅱ		

# I . 基礎分野

## II. 專門基礎分野

### Ⅲ. 專門分野

講義科目		作業療法学総合学習					
担当講師		松崎 正晃			授業時間数	60	
開講年次		昼間コース	作業療法学科3年後期	実務経験	身体障害領域病院実務経験	単位数	2
教育目標		①臨床実習の経験を元に、専門基礎科目・専門科目の知識の統合を図り、国家試験受験に値する総合的な力をつけることを目標とする					
No.	講義	計画	行動目標 (学習目標)				
1	オリエンテーション①	①国家試験に合格するために必要な知識・技術を確認する ②国家試験の概要と学習方法を理解する ③学習計画を作成する	16	基礎医学と専門科目・総合学習⑥	①国家試験問題を解き専門基礎分野・専門分野の知識を確認する(グループ学習) ②模試の成績確認を行い、不十分な知識の習得を行う(模擬試験) ③すでに学習している領域の点数が低い場合は、原因を検討し再習得を図る  ※必要に応じて教員が特別講義もしくは個別指導を実施する		
2	オリエンテーション②		17	基礎医学と専門科目・総合学習⑦			
3	基礎医学と専門科目・知識技術の整理①		18	基礎医学と専門科目・総合学習⑧			
4	基礎医学と専門科目・知識技術の整理②	19	基礎医学と専門科目・総合学習⑨				
5	基礎医学と専門科目・知識技術の整理③	20	基礎医学と専門科目・総合学習⑩				
6	基礎医学と専門科目・知識技術の整理④	①国家試験問題を解き専門基礎分野の知識を確認する(グループ学習) ②小テストを受け苦手分野を把握する  ※必要に応じて教員が特別講義を実施する	21	基礎医学と専門科目・総合学習⑪			
7	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑤		22	基礎医学と専門科目・総合学習⑫			
8	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑥		23	基礎医学と専門科目・総合学習⑬			
9	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑦		24	基礎医学と専門科目・総合学習⑭			
10	基礎医学と専門科目・知識技術の整理⑧		25	基礎医学と専門科目・総合学習⑮			
11	基礎医学と専門科目・総合学習①	①国家試験問題を解き専門基礎分野・専門分野の知識を確認する(グループ学習) ②模試の成績確認を行い、不十分な知識の習得を行う(模擬試験) ③すでに学習している領域の点数が低い場合は、原因を検討し再習得を図る  ※必要に応じて教員が特別講義を実施する	26	基礎医学と専門科目・総合学習⑯			
12	基礎医学と専門科目・総合学習②		27	基礎医学と専門科目・総合学習⑰			
13	基礎医学と専門科目・総合学習③		28	基礎医学と専門科目・総合学習⑱			
14	基礎医学と専門科目・総合学習④		29	基礎医学と専門科目・総合学習⑲			
15	基礎医学と専門科目・総合学習⑤		30	基礎医学と専門科目・総合学習⑳			
教科書	書籍名		著者		出版社	発行年	
	特に指定しない						
参考図書等	随時提示を行う						
授業方法	グループ学習を基本とし、個人の取り組みを実施する。		成績評価方法	グループへの取組・模擬試験・定期試験を総合し評定する。(定期試験はマークシート形式)			
履修上の注意	本科目は、自己の到達点と課題を明確にできる貴重な場である 個人の積極的な学習への取り組みが求められる。特に、他者に教えることで、さらに知識が深まるので積極的な知識の表出に努めてください。						

講義科目	臨床実習					
担当講師	作業療法学科教員・臨床教育指導者			授業時間数	810	
開講年次	昼間コース	作業療法学科3年	実務経験	病院において作業療法士として実務経験あり	単位数	18
教育目標	①作業療法の流れを習得し状況に応じて介入を図る。 ②作業療法士の管理・運営を理解する。 ③作業療法の意義、チームアプローチにおける作業療法士の役割と機能を理解する。					
No.	講義計画・行動目標（学習目標）					
<p>事前学習</p> <p>感染症対策等医療安全管理及び個人情報保護 医療面接及び評価・治療・技術及び基本的臨床技能</p> <p>臨床実習（4週、8週、8週、計3回の医療機関における実習） 次週施設で臨床実習教育者からの指導を通じて、下記を中心に理学療法士の役割・チーム医療について学ぶ。</p> <p>情報収集や観察・対象者に適した評価の実施。 得られた結果の統合と解釈を行い、問題点の抽出、治療目標・治療計画を立案する一連の流れを学習する。</p> <p>事後学習 事後振り返り</p>						
教科書	書籍名		著者		出版社	発行年
	リハビリテーションビジュアルブック 第2版		監修:落合慈之		学研メディカル秀潤社	2018
参考図書等						
授業方法	臨床実習施設における実習を通して学習する。		成績評価方法	臨床実習施設における評定及び学内での事前・事後学習状況を総合的に評価。		
履修上の注意						